

安全データシート

ナラシン

作成年月日：2026年1月16日


1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|----------|------------------|
| 化学物質の名称 | ナラシン (Narasin) |
| 供給者の会社名称 | 株式会社 科学飼料研究所 |
| 住所 | 東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 |
| 電話番号 | 03-6478-2387 |
| FAX 番号 | 03-6478-2390 |
| 用途 | 飼料添加物 |
| 使用上の注意 | なし |

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

| | | |
|-----------|--------------|--------|
| 物理化学的危険性 | 火薬類 | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性ガス | 分類対象外 |
| | 可燃性・引火性エアゾール | 分類対象外 |
| | 支燃性・酸化性ガス類 | 分類対象外 |
| | 高压ガス | 分類対象外 |
| | 引火性液体 | 分類対象外 |
| | 可燃性固体 | 分類できない |
| | 自己反応性化学品 | 分類対象外 |
| | 自然発火性液体 | 分類対象外 |
| | 自然発火性固体 | 区分外 |
| | 自己発熱性化学品 | 分類できない |
| | 水反応可燃性化学品 | 分類対象外 |
| | 酸化性液体 | 分類対象外 |
| | 酸化性固体 | 分類対象外 |
| | 有機過酸化物 | 分類対象外 |
| | 金属腐食性化学品 | 分類できない |
| 健康に対する有害性 | 急性毒性（経口） | 区分2 |
| | 急性毒性（経皮） | 分類できない |

| | | |
|-----------|--|--------|
| | 急性毒性（吸入：ガス） | 分類対象外 |
| | 急性毒性（吸入：蒸気） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：粉じん） | 分類できない |
| | 急性毒性（吸入：ミスト） | 分類対象外 |
| | 皮膚腐食性・刺激性 | 分類できない |
| | 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | 分類できない |
| | 呼吸器感作性 | 分類できない |
| | 皮膚感作性 | 分類できない |
| | 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| | 発がん性 | 分類できない |
| | 生殖毒性 | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） | 分類できない |
| | 特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） | 分類できない |
| | 吸引性呼吸器有害性 | 分類できない |
| 環境に対する有害性 | 水生環境急性有害性 | 分類できない |
| | 水生環境慢性有害性 | 分類できない |
| GHS ラベル要素 | | |
| 絵表示 |  | |
| 注意喚起語 | 危険 | |
| 危険有害性情報 | 飲み込むと生命に危険 | |
| 注意書き | <p>【安全対策】 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>【応急措置】 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。</p> <p>【保管】 施錠して保管すること。</p> <p>【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物</p> | |

処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名
別名

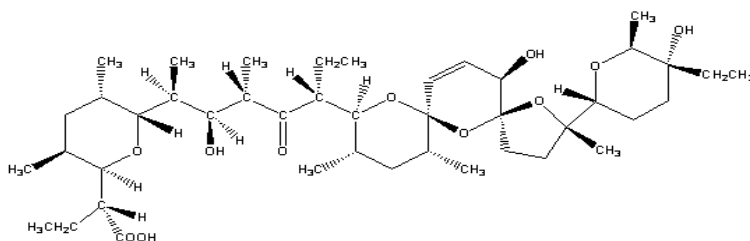
ナラシン

アルファ-エチル-6-[5-[2-(5-エチルテトラヒドロ-5-ヒドロキシ-6-メチル-2H-ピラン-2-イル)-1,5-ヒドロキシ-2,10,12-トリメチル-1,6,8-トリオキサジスピロ[4.1.5.3]ペンタデカ-13-エン-9-イル]-2-ヒドロキシ-1,3-ジメチル-4-オキソヘプチル]テトラヒドロ-3,5-ジメチル-2H-ピラン-2-酢酸

分子式 (分子量)

C₄₃H₇₂O₁₁ (765.04)

化学特性 (示性式又は構造式)



CAS 番号

55134-13-9

官報公示整理番号 (化審法・安衛法)

化審法:—
安衛法:—

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

データなし

濃度又は濃度範囲

100%

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

予想される急性症状及

データなし

び遅発性症状

最も重要な兆候及び症状 データなし

応急措置をする者の保護 データなし

医師に対する特別な注意事項 データなし

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤 棒状放水

特有の危険有害性 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
摩擦、熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
激しく加熱すると燃焼する。

特有の消火方法 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

密閉された場所に立入る前に換気する。

環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。

回収・中和 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

機材

二次災害の防止策 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

| | |
|-----------|---|
| 技術的対策 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| 局所排気・全体換気 | 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| 安全取扱い注意事項 | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 飲み込まないこと。 皮膚との接触を避けること。 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

接触回避

データなし

保管

| | |
|--------|-------------------------------|
| 技術的対策 | 特別に技術的対策は必要としない。 |
| 混触危険物質 | データなし |
| 保管条件 | 施錠して保管すること。 容器を密閉して保管すること。 |
| 容器包装材料 | データなし |

8. ばく露防止及び保護措置

| | |
|----------------------------|--|
| 管理濃度 | 未設定 |
| 許容濃度（ばく露限界値、 生物学的ばく露指標） | |
| 日本産衛学会 | 未設定 |
| ACGIH | 未設定 |
| 設備対策 | この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 |
| 保護具 | |
| 呼吸用保護具 | 適切な呼吸器保護具を着用すること。 |
| 手の保護具 | 適切な保護手袋を着用すること。 |
| 眼の保護具 | 適切な眼の保護具を着用すること。 |
| 皮膚及び身体の 保護具 | 適切な保護衣を着用すること。 |
| 衛生対策 | 取扱い後はよく手を洗うこと。 |

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|----------------|---|
| 形状 | 固体 |
| 色 | データなし |
| 臭い | データなし |
| pH | データなし |
| 融点・凝固点 | 98 - 100℃ : NITE 総合検索 (Access on Oct. 2008) |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火温度 | データなし |
| 燃焼性 (固体、ガス) | データなし |
| 爆発範囲 | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 蒸気密度 | データなし |
| 蒸発速度 (酢酸ブチル=1) | データなし |
| 比重 (密度) | データなし |
| 溶解度 | 水に不溶 : NITE 総合検索 (Access on Oct. 2008) |
| オクタノール・水分配係数 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| 粘度 | データなし |
| 粉じん爆発下限濃度 | データなし |
| 最小発火エネルギー | データなし |
| 体積抵抗率(導電率) | データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | データなし |
| 混触危険物質 | データなし |
| 危険有害な分解生成物 | データなし |

11. 有害性情報

急性毒性

| | |
|---------------------|---|
| 経口 | ラットにおける LD50 = 18500 ug/kg (RTECS(1996))より区分2とした。 |
| 経皮 | データなし |
| 吸入 (ガス) | GHS の定義における固体である。 |
| 吸入 (蒸気、ミスト) | RTECS(1996)の LC50 データ (>400mg/m3/30min) から LC50 値が特定できないため、蒸気・ミストに関わらず分類できない。 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | データなし |
| 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | データなし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | 呼吸器感作性：データなし 皮膚感作性：データなし |
| 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 発がん性 | データなし |
| 生殖毒性 | データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) | データなし |
| 特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) | データ不足のため分類できない。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | データなし |

12. 環境影響情報

| | |
|-----------|---------------|
| 水生環境急性有害性 | データがなく分類できない。 |
| 水生環境慢性有害性 | データがなく分類できない。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 |
| 汚染容器及び包装 | 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 |

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|--------|-------|
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |
| UNNo. | 該当しない |

国内規制

| | |
|--------|------------|
| 陸上規制情報 | 毒劇法の規制に従う。 |
| 海上規制情報 | 該当しない |
| 航空規制情報 | 該当しない |

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。
食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

| | |
|-----------|---|
| 労働安全衛生法 | 令和8年4月1日からの施行(義務適用) 名称等を表示すべき危険有害物 名称等を通知すべき危険有害物 |
| 毒物及び劇物取締法 | 毒物(指定令第1条)(政令番号:19-4) 劇物(指定令第2条)(政令番号:77-2) |
| 飼料安全法 | 飼料添加物(ナラシン) |

16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの情報を参考にして作成したものです。全ての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。重要な決定等にご利用される場合は、別途資料や文献を調査し検討するか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は通常取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には別途注意が必要になることをご配慮ください。

<引用文献>

- 厚生労働省 職場のあんぜんサイト: モデル SDS 「ナラシン」 2008年11月19日改

訂版

- NITE 化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)